



進路だより

長崎県立鶴南特別支援学校五島分校
フットワーク
第3号

中学部 編

職場見学に行ってきました

中学部は、11月2日（金）に「ブルワーク」に職場見学に行きました。木工作业では、ステンシルを体験し、印刷作業では、シルクスクリーンの体験をしました。また、ブルワークに勤めている先輩に質問をしたり、指導員の石松さんから説明を聞いたりしました。通勤手段や利用時間、昼食についての質問を行い、生徒にとって将来の仕事について考える良い機会になりました。

ブルワークでの仕事体験を通して、印刷の仕事や木工作业がとても楽しかったという意見が多く、良い経験をすることができました。



花屋の見学に行ってきました

小学部3・4年生は、9月に花屋や電器屋、交番などの見学に行きました。花屋では、いろいろな種類の花を紹介してもらったり、お店の方に質問をしたりしました。また、花束を作る場面を見せてもらい、花屋への関心を高めることができました。その後の生活単元学習のごっこ遊び単元では、花屋さんごっこをしたいという児童が多く、みんなでチューリップやゆり、ひまわりなどの花や看板を作り、「3・4年生花屋さん」をしました。注文を聞いたり、ラッピングをしたりして花屋さんになりきりました。



就労アドバンスセミナー

講師に令和元年度卒業生の松浦真弓様（司コーポレーション1年目）と下五島障害者就労・生活支援センターの堀様をお招きし、「働くために必要なこと」というテーマで講話をいただきました。講話の内容の一部を紹介します。

○ 松浦 様 （司コーポレーション 五島中央病院の清掃） ※講話から一部抜粋

- ・在学中の現場実習で病棟を掃除しているときに、患者さんに「ありがとう」「がんばってね」と言われたことが嬉しかった。
- ・働くときに気を付けることは、患者さんや医師、看護師の仕事に支障がないように清掃する。清掃が優先ではない。また、作業の時間など決められた時間を守ることが大事。
- ・高等部と社会人の違いは、責任感が違う。高等部のときは失敗しても助けてくれる人がいたが、社会人は、助けてくれる人がいるとは限らない。
- ・社会人として働くうえで、大切にしていることは、気配りや仕事の優先順位を考えること。
- ・後輩のみなさんに伝えたいことは、今からコミュニケーション能力を身に付けた方がよい。



○ 堀 美和 様

（下五島障害者就労・生活支援センター 通称：なかぼつセンター） ※講話から一部抜粋

- ・なかぼつセンターは、企業で働く障害のある方の仕事と生活の悩みを聞いたり、お手伝いをしたりするところ。
- ・費用は無料。（ただし、余暇活動に参加するときや職場実習を行う場合は費用が発生する場合がある。）
- ・働くとは、「生活をするため」、「社会の一員になるため」、「自分の力を試すため」、「自分のやりたいことを発揮する」こと。
- ・全ての企業が求める働く力は、「スピードが遅くても真面目で一生懸命にすること」と「人あたりがよく、笑顔で話をする」こと。



・企業からほめられたよい例

休まずに出勤する。
真面目に一生懸命、仕事をしている。
大きな声で挨拶する。



・企業から相談があった悪い例

職場の人の言うことに素直に「はい」と返事をせず口答えをする。
職場の人の指示や話が分かっていなくても「はい」と返事をし、実際に言われたことができない。
休んでばかりで、出勤しない。

後期現場実習

1、2年生は2週間、3年生は3週間、現場実習を行いました。現場実習の壮行会では、自分が決めた目標を発表したり、決意を述べたりしました。今回の実習では、1年生が初めて長期間学校を離れて実習に取り組みました。生徒は想像がつかないことで緊張もありましたが、任された仕事に一生懸命に取り組み、働くことを肌で感じることができました。2年生は自分がどんな職種に向いているのか、どこで働くのかを考える実習になりました。3年生は進路を決めるための実習で、最長の3週間取り組み、卒業後の進路先が見えてきました。報告会では、目標の反省や今後の新たな決意を、実習の様子を交えながら発表しました。中学部の生徒も参加し、たくさんの質問があり、みんなにとって実りある報告会になりました。実習の様子をご覧ください。

【1年生】

<いなり寿司づくり>



<商品補充>



<みかんの袋詰め>



<レジ手伝い>



<包装>



<数の子のパック詰め>



【2年生】

<うどんづくり>



<糸取り>



<芋の皮むき>



<ミシン>



【3年生】

<バスの清掃>



<野菜の袋詰め>



<うどんづくり>

